

概要

～分断リスクに向き合う国際ビジネス～

第Ⅰ章 世界と日本の経済・貿易

－世界貿易フローの変化に見る分断リスクの高まり－

- 2022年の世界貿易は、金額・数量ともに前年比で増加したが、2023年にかけて増勢は失われつつある。世界経済の先行き、資源高、食料不安、金融市場の不安定化などが下振れリスクに。
- ウクライナ紛争の長期化、主要国による貿易制限措置の増加、米中関係をはじめとする地政学リスクの影響により、自由貿易体制に歪みが生じている。
- 経済効率性や比較優位に基づいて形成されてきた主要国・地域間の貿易関係は、政治的な価値観を共有する同志国を優先する方向へ徐々にシフトが見られる。

第Ⅱ章 世界と日本の直接投資

－グローバル企業・日本企業の海外展開、成長産業に集まる投資－

- インフレの高進や金利の高止まり、債務の増大などの危機の連鎖を受け、約2年続いた力強い投資の回復トレンドは一転、2022年後半から下降局面にシフトした。
- 一方、米国やEUを中心に、多額の財政支出を伴う戦略産業の誘致競争が本格化。補助金や税制優遇を活用した多国籍企業の大型投資案件が増加する。自国本位で内向きな産業政策間の競争と、サプライチェーン途絶リスクへの警戒が、企業の投資行動に変化をもたらしている。

第Ⅲ章 世界の通商ルール形成の動向

－経済安全保障を動機とする貿易・投資規制の広がり、増大するコスト－

- 経済安全保障やサプライチェーン強靱化を動機とする各国独自の政策、規制の増加が、企業の貿易環境の不確実性を高め、貿易取引の拡大や多角化を阻害している側面もある。
- 企業は乱立するルールへの対応強化が急務に。従来の貿易管理の範疇を超え、地政学リスクに基づく調達・生産・販売網の見直し、レピュテーションリスク対応など、広範な課題への備えが必要。

第Ⅳ章 持続可能な社会を目指す政策とビジネス

－進展する人権・環境分野の法制化と政策形成、企業に求められる対応は－

- 人権・環境デューデリジェンスの法制化と企業への要請は着実に強まっており、サプライチェーンを通じた適切な対応が不可欠に。他方、2022年、世界のESG債券投資が一転減少へ。ESG投資に変化の兆しが見られる。
- EUの「炭素国境調整メカニズム（CBAM）」が施行され、世界で導入が進む炭素価格は新たなステージに入った。企業には温室効果ガス排出量の算出が避けて通れない課題となりつつある。

◆世界と日本の貿易、直接投資、M&A統計 <https://www.jetro.go.jp/world/statistics/>



◆国・地域別情報 <https://www.jetro.go.jp/world/>



【編著者】

調査部国際経済課

伊藤 博敏 (全体統括、第II章、第III章)
田中 麻理 (第I章統括)
森 詩織 (第II章統括、第IV章)
藪 恭兵 (第III章統括)
安田 啓 (第IV章統括、第III章)
中村 江里子 (第I章、第II章)
宮島 董 (第I章、第II章)
板谷 幸歩 (第III章、第IV章)
渡邊 敬士 (第IV章)

調査部

田中 晋 (第IV章)
藤江 秀樹 (第I章)

【執筆者】

調査部

アジア大洋州課 新田 浩之、北村 寛之、庄 浩充
中国北アジア課 片小田 廣大
米州課 辻本 希世、赤平 大寿、滝本 慎一郎、小西 健友
欧州課 牧野 彩、山根 夏実、奈良 陽一、二片 すす、後藤 大輝
中東アフリカ課 久保田 夏帆、梶原 大夢
企画部企画課 古川 祐
農林水産・食品市場開拓課 調査チーム
広州事務所 小野 好樹
シンガポール事務所 本田 智津絵
テルアビブ事務所 太田 敏正
ロンドン事務所 崎重 雅英、伊藤 吉彦

(執筆当時)

本書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

ジェトロ世界貿易投資報告 2023年版

2023年8月1日オンデマンド版発行

編集・発行 日本貿易振興機構 (ジェトロ)

本 部 東京都港区赤坂 1-12-32 〒107-6006
〈編 集〉 調査部 国際経済課 ☎(03)3582-5177
〈制作・販売〉 調査部 デジタルメディア班 ☎(03)3582-3518

<https://www.jetro.go.jp/publications/>

© JETRO 2023 Printed in Japan

表紙装丁：PGR COMPANY

ISBN978-4-8224-1183-1

無断転載を禁じます